



NOBEOKA
ART EXHIBITION

市 70th
美 展

いちばん近いアート展

入賞・入選
目録



特選

延岡市長賞



待春(油彩)
上山晴久

講 春を待つ凜と立つ一本の木新しいこれか
評 らの人生を感じさせるすばらしい。

特別賞

第70回記念特別賞



ANTIQUÉ DOLL(油彩)
首藤孝子

講 特別賞にふさわしく異彩を放つ作品で
評 す。すばらしい。

準特選

延岡市教育長賞



草生す廃線(水彩)
川内寧彦

準特選

延岡市文化連盟会長賞



朽船(水彩)
高山好二

講 川内寧彦さんの草生す廃線 高山好二さんの朽船 人生を感じさせるすばらしい傑作です。
評



洋画部門審査委員

安田 潤兒 (4回目)
現代美術家 (元モダンアート協会会員)

入賞作品

無鑑査

奨励賞 延岡市議会議長賞	久保ケイ子	雪晴れの朝(油彩)	後藤光雄	ごってんさん(アクリル)
奨励賞 旭化成(株)延岡支社長賞	蓑毛覚	緑の街I(パステル、アクリル)	坂元紀雄	一刻-(油彩、アクリル)
奨励賞 夕刊デイリー新聞社賞	三谷文男	赤松(油彩)	田中節子	2011・祈(油彩)
奨励賞 延岡市美術展覧会実行委員長賞	陸丸敦子	かえり道(油彩)	米良俊男	比叡幻想(アクリル)
努力賞	宮井久美子	綱ノ瀬橋梁(水彩)	八木隆幸	まるの詩・2020-05-26(油彩)
プラチナ賞	野村幸枝	日日は好日(その他)		

入選者

アーナー恵子	心の解放	アクリル	志田嘉嗣	巖島神社(海中に建つ)	油彩
池田見一	2021' 禱りのうた	油彩	田中千代子	バラの危うさ	パステル
市原哲郎	流木の館の朝	水彩	寺地良子	20歳の思い出	油彩
岩崎奈美子	あじさい	油彩	成合英子	鉄道橋(旧高千穂線)	水彩
大坪眞佐子	ベネチア(嵐あとの夜明け)	油彩	畑田禮子	工場と川のある町	水彩
大山久雄	希望	油彩	林弘之	クルスとドラゴンの街	アクリル
落合直文	菜の花	油彩	柳田佳代	これから・・・	水彩、パステル
甲斐トシ子	K子の休日	アクリル	吉田千代子	男池の風景	水彩
甲斐美保	春爛漫	油彩			
片寄未砂子	私の好きな風景(須崎公園)	油彩			
川崎圭子	S. 2021. ひとこいし	油彩			
木村マシ子	みのり	油彩			
窪田利重	雲翳	油彩			
佐藤伸樹	きずな	水彩			
佐藤幸義	城山の鐘	油彩			
眞田昌良	コロナ禍のひとつき	水彩			
塩月眞	鴨渡る水郷延岡の秋	アクリル			

日本画 ・ 水墨画 ・ ちぎり絵等 部門

特 選
延岡市長賞



おもいで(日本画)
大隅萌絵

講 鑑賞者によって受け取る印象やそこにあ
評 る物語の感じ方が大きく違ってくる作品
で、そのことを絵画の持つ魅力のひとつと
して評価しました。技術的にも十分な素
材との対話を経て充実した技法につな
がったものであると思います。

特 別 賞
第70回記念特別賞



十一面観音像画(日本画)
右田昭二

講 通常、公募展等で模写を出品することはありま
評 せん。評価すべき作者の想い以前に元絵の存
在と魅力があるからです。しかしこの作品は単
純な臨模作業ではなく、表現として空間への意
識が非常に高く、特異な画面上の質感を表出
することに成功していることを評価しました。

入賞作品

無鑑査

奨励賞

岡田恵子

赤い窓のある家(日本画)

原辰義

お見守り(剪画)

センコー(株)東九州主管支店長賞

努力賞

廣末仁美

沈壽官さんの家(日本画)

プラチナ賞

佐多光夫

海の見える坂道(水墨画)

入選者

梅木三千世
岡田洋子
中山須磨子

舞野の菜の花
竹林の小径
あじさい

日本画
ちぎり絵
日本画

森福子

時を告げる鐘(城山の鐘)

ちぎり絵

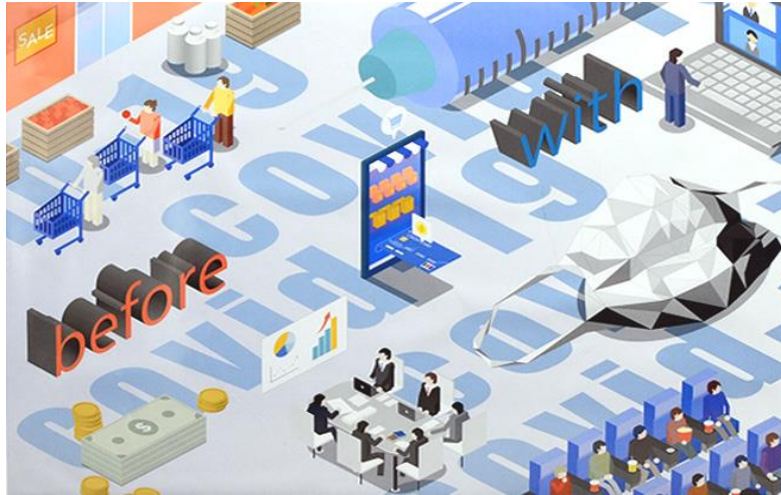


日本画 ・ 水墨画 ・ ちぎり絵等部門審査委員

中村 賢次 (3回目)
日展特別会員・崇城大学芸術学部教授

デザイン 部門

特別賞
第70回記念特別賞



移りゆく時代(グラフィックデザイン)

丸中幸太郎

講評 いま社会の中でもっとも問題化している新型コロナウイルス話題性と社会現象を的確に捉え、
解決しにくい悩ましい社会病理状況を立体的しかもモダンに仕上げその作品は新鮮さを感じる。

今回は特選の該当がありませんでした

入賞作品

無鑑査

努力賞

鈴木葵

現代っ子(グラフィックデザイン)

木田 柊子

pandemic

入選者

舘山幸雄	阿修羅像	グラフィックデザイン
玉木藍子	祈り	グラフィックデザイン
山口瑞綺	君の居場所は	グラフィックデザイン



デザイン部門審査委員
今村 義昭 (2回目)
アートディレクター
(公社)日本グラフィックデザイナー協会会員・
元デザイン専門学校コミュニケーションデザイン科非常勤講師



特 選

延岡市長賞

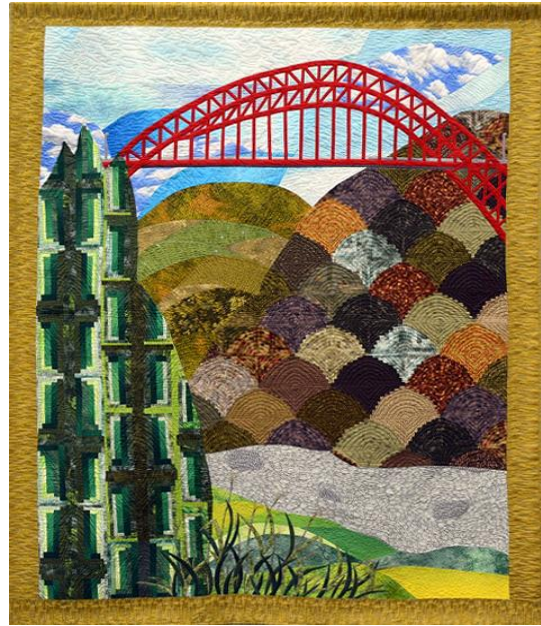


鎧(彫刻)
甲斐卓雄

講 重厚な色彩と表面の材質感に圧倒的迫
評 力を感じます。また、台座も豪快な造作に
なっています。

特 別 賞

第70回記念特別賞



千支大橋(延岡市北方町)(パッチワーク)

伊作とよ子

講 パッチワークを風景画に見立て見事な空間
評 構成としています。

準特選

延岡市教育長賞



川崎えつ子

講 評
刺繍で朝顔の表情を繊細に
表現されています。



彫刻・工芸部門審査委員

筒井 知徳 (初)
九州産業大学造形短期大学部特任教授
公益社団法人 福岡県美術協会監事

入賞作品

無鑑査

<p>奨励賞 延岡市議会議長賞</p>	<p>日野絵美 切ない思い出(ストリングアート)</p>	<p>芝行則 青いりんご(彫刻)</p>
<p>奨励賞 延岡市医師会長賞</p>	<p>松田美智子 響き(パッチワーク)</p>	<p>武田弘子 若冲雌雄鶏図(友禅染)</p>
<p>奨励賞 清本鐵工(株)社長賞</p>	<p>甲斐富美子 城山に春の予感(パッチワーク)</p>	<p>中村有子 幾何紋皿「和の刻」(陶芸)</p>
<p>努力賞</p>	<p>越智理恵子 春の謳歌(鎌倉彫)</p>	

入選者

秋本富美子	新緑の輪弧	竹細工
壱岐陽子	月桃	友禅染
井上敦	命のバトンに万歳	竹細工
甲斐正行	お多福	彫刻
栴島福久美	未来へ	パッチワーク
草野節子	希望	パッチワーク
工藤武人	梅花皮壺	陶芸
黒木英勝	笠沙の星(金箔窯変壺)	陶芸
関武司	黄透明網目壺	陶芸
高須久美子	家族の食卓	刺繍
高田裕満	鬼瓦	陶芸
田上多津美	褐色、藍色	友禅染
堤和子	癒し	パッチワーク
温水輝子	禅	パッチワーク
野本由布貴	花織—タペストリー—「秋の入江」	織物
右田昭二	能面(大宮大和)	彫刻
宮尾徹	象の彫刻	彫刻
横田京子	朱	パッチワーク

書道部門

特選

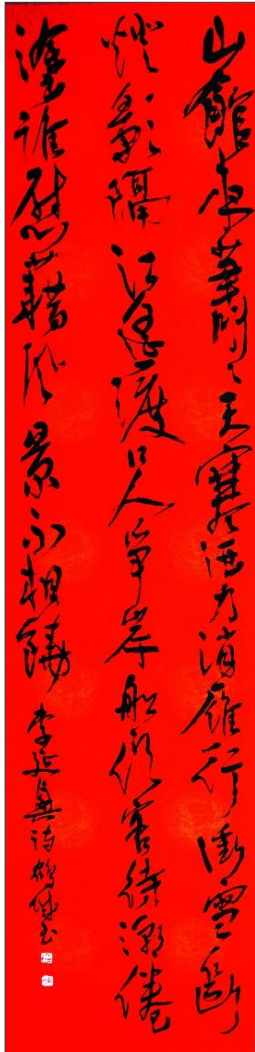
延岡市長賞

李延興詩

谷口隆幸

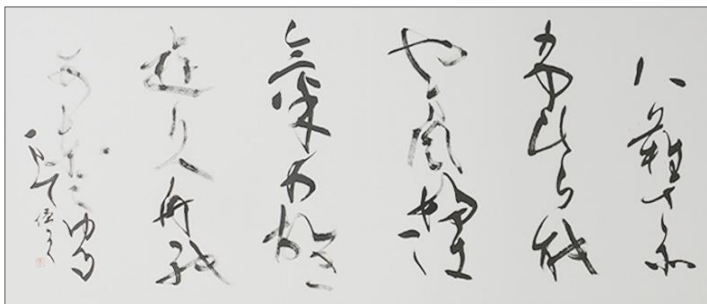
講評

墨色と紙の朱色を調和させ、書作に対する心情を手馴れた技法で平易に書き進めた作品は、主席に値する。



準特選

宮崎県教育長賞



花のうた

秋田優季

講評 大字仮名作品は、鋭い筆致で切れ味のよい線を駆使し、運腕の大きさが横への広がりをもより大きく感じさせ、簡素な趣を持って書き進めた行間の美しい作品である。

特別賞

第70回記念特別賞

即事

岡崎亜希子

講評

運腕大胆、自由闊達、変幻自在の運筆は観る者の肝を揺さぶる力感の作。

*岡崎亜希子さんは、二度の特選と第70回記念特別賞を獲得されたことにより、無鑑査となりました。



準特選

延岡市文化連盟会長賞

王維詩

小坂千代子

講評

筆勢があり、線状が冴えわたり墨のつぶしが迫力となり、生命観あふれる隸書作品。



書道 部門審査委員



二宮 欣山 (3回目)
日展会友・読売書法会理事
日本書芸院参与

入賞作品

無鑑査・招待作家

奨励賞

安藤チカ子

渡揚子江

無鑑査招待作家

西村香枝子

山陰道上

延岡市医師会長賞

奨励賞

植田紘士

古意

無鑑査招待作家

山浦秀子

常識は

延岡市西臼杵郡薬剤師会長賞

奨励賞

牛迫孝子

高青邱詩

無鑑査

尾崎真人

漢語

ケーブルメディアワイワイ賞

奨励賞

尾池綾美

魯郡東石門送杜二甫

無鑑査

植野春雄

李澄中詩

延岡市美術展覧会実行委員長賞

努力賞

田口智子

遠山の

無鑑査

西村寿洋

天平山

プラチナ賞

植野幸雄

王維詩

無鑑査

城戸雅子

「墨画入門」より

招待作家

原田さゆり

姫路城

招待作家

大塚洋子

白紵辭

入選者

青柳有伸 瑩公の禅房に宿して梵を聞く
池田文恵 自從出家 八月涼氣至
伊藤由美子 若山牧水 白玉他一首
上杉秀子 山行
上野和子 行く末は
植野寿美 送師厚歸南陽
岡田雅子 孫逖詩
岡村公子 早春長安道上
小田千穂 有明の
小野静 郭主簿に和す
甲斐かおり 少年行
甲斐タヅ子 東西門行
甲斐洋子 陳之遶詩
河内真弓 春望次韻
城戸裕行 閩溪舟行即事
熊谷菜穂子 班婕妤
黒木正子 秋懷詩

興梶ふみ 山里は
佐藤茂樹 新安道中
篠原和子 背面美人図、對梨花
高橋洋子 歲月不待人
西田幸市 畫花鳥・種瓜・摘瓠・憶蜀山人
西田登美子 吳錫麒詩
原田佑香 對酒行
山口幸代 宣城長史
吉岡陽子 灌花

竹林の妖精たち

甲斐靖一

講評

竹林の中を飛翔するホタルの光跡が印象深く表現されています。光のラインをスローシャッターで捉え、多重露光を施した表現はよく目にしますが、ホタルの光を光の円ボケとして描写された表現は新鮮に映り、独創性に富んでいます。竹林と紫陽花にも配慮された絵作りも素晴らしく、抒情性のある絵になりました。



特選

延岡市長賞

特別賞

第70回記念特別賞



愛のかたち

櫻井洋一

講評

暗い背景をバックに選び、白鷺の親子の姿が浮き彫りにされました。白鷺の羽の白さがより一層際立ち印象を深め、親鳥と雛たちの仕草が趣を放ち迫ってきます。主題の周りの情景をワイドに切り取り、絶妙の空間表現としてまとめられました。

準特選

宮崎県知事賞



花の浮橋

児玉美智子

見事な花筏のひとこまが的確に表現されました。水面に映る枝ぶりのシルエットにも着目された絵作りが素晴らしい。花びらの鮮やかな色調描写と画面の隅々までシャープに描写された露出設定が絶妙で、じっくりと絵作りを吟味された跡がうかがえます。フレーミングが秀逸でした。

準特選

延岡市教育長賞



大きくなあれ

安藤和晃

お子さんに向けられた深い愛情が伝わる表現です。着想がユニークでおもしろく独創性に富んだひとこまに仕上がっています。元気はつらつとした赤ちゃんの表情が印象的で、すくすくと元気に育ってほしいと願う熱い思いが伝わり、見る者の心に響きます。



写真部門審査委員

江口 慎一 (4回目)
公益社団法人 日本写真家協会 (JPS) 会員

準特選

延岡市文化連盟会長賞



夕闇の紫陽花

那須重人

講評 光の演出効果を熟知した、作者の鋭い感性が光りました。光の円ボケを活かした背景処理が印象深く魅力的で、趣のある紫陽花の表情とも上手く絡めて絵作りされました。ややアンダー気味の露出設定が功を奏し、コクのある色調描写に仕上がっています。

準特選

延岡市文化連盟会長賞



仙人の憂鬱

久保 徹

講評 玄人好みの表現ですね。ドキュメンタリーなタッチの描写が味わい深いイメージを演出し、力強いメッセージ性とインパクトのある心象風景が描かれました。作者の審美眼と秀でた絵心、柔軟な発想力の賜物でしょう。環境問題を訴えつつ叙情性豊かな絵になっています。

入賞作品

無鑑査

奨励賞

田上誠

bottle

旭化成(株)延岡支社長賞

後藤司郎

静寂

奨励賞

宮良信道

早暁に映える

延岡商工会議所会頭賞

高橋ミサ子

漁港朝景

奨励賞

押方徹

神の里

宮崎日日新聞社賞

奨励賞

赤池泰男

花の神秘

延岡市歯科医師会長賞

奨励賞

小松清春

技

延岡農業協同組合代表理事組合長賞

奨励賞

阿部節子

雫のイヤリング

延岡観光協会賞

奨励賞

山田悦子

雫の宝石

延岡市美術展覧会実行委員長賞

努力賞

三好啓司

妖光

プラチナ賞

川端章

五月夢想

入選者

芥美奈子	月の道
飯田かおり	絆
飯干幸一	時代を越えて
池田晃二	まなざし
伊東英一	memory 絵菜 20才
植野浩人	テンション
内倉政子	神様とんぼ
大津由吏江	涼風のせせらぎ
大山久雄	潮騒の詩
岡野勉	虹色の泡
小田中等	乱舞
甲斐啓一	春の宵
甲斐孝一	竹林のシンホニー
笠村陽一	ゆらめく光華
川崎由美子	暁の霊峰
菊池貢	静かな朝
後藤秀彦	夜明けの鼓動
後藤雅之	有明の月
坂井和帆	竹灯籠と傘まつり
酒井義満	燃える朝
坂脇昭吉	春を愛でる
佐藤孝夫	海霧と漁火
佐藤力祥	楽しさもいっぱい
白谷俊一	夢浪漫
雀ヶ野秀憲	大樹の下で
高島章碩	静寂の秋
田中芳典	小雨に煙る朝
千葉雄一	小さい春みつけた
角森立子	竹取物語プロローグ
遠竹陽介	生後<815対5>か月
年森徹	波紋を衝け
戸高 一	大祓神事
富山隆志	お宿へ帰ろう
富山恵	朝露のしずく
永山淳	落葉の小道
春口五男	大空へ舞う
福川原敏憲	原風景
藤本竜也	蒼然暮色
堀田宗範	或る日の人吉駅
前田徳子	優しい光に包まれて

増田豊水	静寂
松尾香代子	卒業
宮崎金男	祭りの子供たち
三輪慶八	涼をもとめて
守田敏和	燃える朝陽の展望台
山元順子	春の香り
横山守	荒城の月
吉岡憲生	以心伝心

審査講評 【洋画部門】

講評

七十回記念展おめでとうございます。

2002年、2012年、2016年、2021年今回で四回目の審査を通していつも思う事は作品を画き続けているファイトの持ち主が延岡に多く居ると言う事にびっくりしました。そして、出品者の多くが70才以上の方と聞いて再度びっくり。

審査を通じて感じることはどの作品からも生き生きと若さを感じるすばらしい作品ばかりに感心させられ力をもらってます。どの作品もその人にしか画けない個性あふれる作品です。受賞作品も同様特選・準特選と優劣つけがたく苦勞しました。中でも特選・準特選は作風がすべて異なりどちらを選ぶかと大変でした。その他の作品も同様すばらしさに感動しています。

特選の上山晴久さんの「待春」春を待つ凜と立つ一本の木新しいこれからの人生を感じさせるすばらしい。

アンチック・ドール首藤孝子さんの作品も特別賞にふさわしく異彩を放つ作品です。すばらしい。

次に川内寧彦さんの草生す廃線 高山好二さんの朽船人生を感じさせるすばらしい傑作です。

作品を拝見して全作品に言える事は今をしっかり取らえて今を画き続けている様これからもやり続ける事の出来る仕事をがんばりましょう。作品からしっかりと勇気と力をもらった気がします。



洋画部門審査委員
安田 潤兒
現代美術家(元モダンアート協会会員)

審査講評

【日本画・水墨画・ちぎり絵等部門】

講評

昨年はコロナ禍により中止となりましたが、今年は70回記念展が開催され大変嬉しく思います。出品点数が非常に少なかったことは残念ではありますが応募された作品一点一点からは作者の想いの伝わるものも多かったと思います。

日本画・水墨・ちぎり絵等、使用画材や技法に大きな違いがございますが、日本の平面表現として制作の動機や意図・テーマを中心に拝見致しました。

〈特選〉の「おもいで」は鑑賞者によって受け取る印象やそこにある物語の感じ方が大きく違ってくる作品で、そのことを絵画の持つ魅力のひとつとして評価しました。技術的にも十分な素材との対話を経て充実した技法につながったものであると思います。

〈70回記念特別賞〉は文字通り特別賞として評価しました。通常、公募展等で模写を出品することはありません。評価すべき作者の思い以前に元絵の存在と魅力があるからです。しかしこの作品は単純な臨模作業ではなく、表現として空間への意識が非常に高く、特異な画面上の質感を表出することに成功していることを評価しました。

〈奨励賞〉の「赤い窓のある家」は建造物のある風景画としてはデッサンの問題はあるものの今回の応募作品の中で最も作品とタイトルがしっかりと一致した点を評価しました。

作品は対象に出会った瞬間の感動やこれまでの経験を通じた思いなどが技法や構図、色彩等々につながる表現となれば必ず優れたものとなります。特に日本画等、日本の芸術は常に季節や自然の変化や日常の生活に根付いたものであることが大切であると思います。

皆様の更なる制作活動を期待しております。



日本画・水墨画・ちぎり絵等部門審査委員
中村 賢次
日展特別会員・崇城大学芸術学部教授

審査講評 【デザイン部門】

講評

一般的にデザインという概念のカテゴリーは多い。私達の生活を見渡すとありとあらゆるデザインに囲まれて生活していると言っても過言ではない。

このデザインの概念を大きく二つに区分すると建築、車のデザインといったプロダクトデザインと広告や印刷といったコミュニケーションデザインに分かれる。今回のデザインは後者のコミュニケーションデザインと捉えた。

コミュニケーションデザインの最終目的は集客や販促、ブランディングといった問題解決に繋がらなければならない。つまり情報を私達の生活者に解かりやすくて確実にアテンションをもって伝え情報が伝播されなければならないと考える。つまり目立たなければスルーしてしまいコストが無駄になってしまう。駅等で見られるポスターは“チラッと見る”程度でじっと立ち止って見る媒体ではないのである。

今日のデジタル社会に於てポスターという媒体は街や駅で見かけることも少なくとも弱い立場にあり忘れかけている媒体ではあるが、制作者の立場からすると、その表現コンセプトはとても難解で魅力的である。つまり伝えようとする情報を動画でなくB1サイズの動かない平面の中にたくさんの情報を詰め込まなければならない。それがテンコ盛りに見せるのではなくシンプルにまとめ、話題性に富み興味を抱かせるような表現がベストである。

七〇回記念特別賞の丸中幸太郎さんの作品“移りゆく時代”はいま社会の中でもっとも問題化している新型コロナウイルス話題性と社会現象を的確に捉え、解決しにくい悩ましい社会病理状況を立体的しかもモダンに仕上げその作品は新鮮さを感じる。

努力賞の鈴木葵さんの作品“現代っ子”は若干の画面の暗さはあるもののストレートに子供の顔を背面から表し、キャッチフレーズの“みんなとあそばないの”も画面中心に堂々とレイアウトしているのは現代っ子らしい表現の仕方その作品は印象深い。



デザイン部門審査委員

今村 義昭

アートディレクター

(公社)日本グラフィックデザイナー協会会員

元デザイン専門学校コミュニケーションデザイン科非常勤講師

審査講評 【彫刻・工芸部門】

講評

初めて本展覧会の彫刻・工芸部門を審査させて頂きました。まずは、昨年度より延期となっておりました70回展が開催されたことに対しまして関係者の皆さま方本当にご苦勞様でした。さらに多数の力作を出品して頂きありがとうございました。皆様の熱意に応えるべく慎重に審議し審査を進めました。

最初に創作を行う時の要素を述べさせて頂きます。それは素材・技術・表現意図でこれらの概念が一つになり作品となります。よって審査においても以上の3つの観点を基準にして行いました。以下受賞作品の講評といたします。

*特選「鎧」は重厚な色彩と表面の材質感に圧倒的迫力を感じます。また、台座も豪快な造作になっています。

*特別賞「干支大橋」はパッチワークを風景画に見立て見事な空間構成としています。

*準特選「宵の貴婦人」は刺繍で朝顔の表情を繊細に表現されています。

*奨励賞「切ない思い出」は小品でありながら糸と精密な手仕事があいまって美しく輝いた作品となりました。「響き」は同じ構成の繰り返しでありながら色彩のハーモニーを醸し出しています。「城山に春の予感」は石垣の工夫された表現に興味を引かれました。

*努力賞「春の謳歌」は椿の花を見事な彫りで蓋物とした創作の上手さを感じます。

最後に伝統ある本展覧会の70回展の開催を心よりお喜び申し上げるとともにますますの発展を祈念いたします。



彫刻・工芸部門審査委員
筒井 知徳
九州産業大学造形短期大学部特任教授
公益社団法人 福岡県美術協会 監事

審査講評 【書道部門】

講評

延岡市美術展覧会の創立70周年記念を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

本年はその節目を記念しまして第70回特別記念賞が設けられ、書部門審査は52点の内26点、入賞10点の36点であり、厳しい審査となりました。

この度、残念ながら入選されなかった方は、次年度に向けて是非頑張ってくださいと思います。

〈特選〉延岡市長賞 漢字 谷口鶴城氏

墨色と紙の朱色を調和させ、書作に対する心情を手馴れた技法で平易に書き進めた作品は、主席に値する。

〈特別賞〉第70回記念特別賞 漢字 岡崎一華氏

運腕大胆、自由闊達、変幻自在の運筆は観る者の肝を揺さぶる力感の作。

〈準特選〉宮崎教育市長賞 仮名 秋田優季氏

大字仮名作品は、鋭い筆致で切れ味のよい線を駆使し、運腕の大きさが横への広がりにより大きく感じさせ、簡素な趣を持って書き進めた行間の美しい作品である。

〈準特選〉延岡市文化連盟会長賞 漢字 小坂千草氏

筆勢があり、線状が冴えわたり墨のつぶしが迫力となり、生命観あふれる隸書作品。



書道 部門審査委員

二宮 欣山

日展会友・読売書法会理事

日本書芸院参与

審査講評

【写真部門】

講評

今回はコロナ感染の影響もあり、自粛生活の中、あまり撮影にも出かけられない状況ながら、多数の出品があり、心より感謝しています。さまざまなジャンルのモチーフを捉えた幅広い表現があり、楽しく審査をいたしました。ただやはり今回は家族や人物、身近な被写体に注目した作品が目に着き、人と人との心の繋がりに着目した表現が多く見受けられました。やはりコロナの影響がそんなところにも表れているなど感じられます。それぞれの作品を通して、出品者の皆さんの写真に向ける思いや物作りに対する熱い表現意欲が読み取れました。今回は残念ながら惜しくも入選、入賞を逃した方も、作品の出来映えは素晴らしいので、また次回、頑張ってトライしてほしいと思います。

延岡市長賞

甲斐 靖一 様 「竹林の妖精たち」

竹林の中を飛翔するホタルの光跡が印象深く表現されています。光のラインをスローシャッターで捉え、多重露光を施した表現はよく目にするのですが、ホタルの光を光の円ボケとして描写された表現は新鮮に映り、独創性に富んでいます。竹林と紫陽花にも配慮された絵作りも素晴らしく、抒情性のある絵になりました

70回記念特別賞

櫻井 洋一 様 「愛のかたち」

暗い背景をバックに選び、白鷺の親子の姿が浮き彫りにされました。白鷺の羽の白さがより一層際立ち印象を深め、親鳥と雛たちの仕草が趣を放ち迫ってきます。主題の周りの情景をワイドに切り取り、絶妙の空間表現としてまとめられました。

宮崎県知事賞

児玉 美智子 様 「花の浮橋」

見事な花筏のひとつまが的確に表現されました。水面に映る枝ぶりのシルエットにも着目された絵作りが素晴らしい。花びらの鮮やかな色調描写と画面の隅々までシャープに描写された露出設定が絶妙で、じっくりと絵作りを吟味された跡がうかがえます。フレーミングが秀逸でした。

延岡市教育長賞

安藤 和晃 様 「大きなあ〜れ」

お子さんに向けられた深い愛情が伝わる表現です。着想がユニークでおもしろく独創性に富んだひとつまに仕上がっています。元気はつらつとした赤ちゃんの表情が印象的で、すくすくと元気に育ってほしいと願う熱い思いが伝わり、見る者の心に響きます。

延岡市文化連盟会長賞

那須 重人 様 「夕闇の紫陽花」

光の演出効果を熟知した、作者の鋭い感性が光りました。光の円ボケを活かした背景処理が印象深く魅力的で、趣のある紫陽花の表情とも上手く絡めて絵作りされました。ややアンダー気味の露出設定が功を奏し、コクのある色調描写に仕上がっています。

延岡市文化連盟会長賞

久保 徹 様 「仙人の憂鬱」

玄人好みの表現ですね。ドキュメンタリーなタッチの描写が味わい深いイメージを演出し、力強いメッセージ性とインパクトのある心象風景が描かれました。作者の審美眼と秀でた絵心、柔軟な発想力の賜物でしょう。環境問題を訴えつつ叙情性豊かな絵になっています。

写真部門審査委員

江口 慎一

公益社団法人 日本写真家協会(JPS) 会員

■第70回延岡市美術展覧会 出品状況

部 門	出品者数			出品作品数			C 招待作家 無鑑査	合計 (無鑑査等含む)		展示作品数	
	A	うち2点 出品者	うち3点 出品者	一般	学生	B 小計		出品者数 A+C	作品数 B+C	入賞 +入選数	無鑑査等を 加えた展示数
洋 画	46 人	9 人	1 人	57 点	0 点	57 点	5 人	51 人	62 点	35 点	40 点
日本画 水墨画 ちぎり絵等	12 人	0 人	0 人	12 点	0 点	12 点	1 人	13 人	13 点	9 点	10 点
彫刻 工芸	33 人	3 人	0 人	35 点	1 点	36 点	3 人	36 人	39 点	25 点	28 点
デザイン	6 人	0 人	0 人	2 点	4 点	6 点	1 人	7 人	7 点	5 点	6 点
書 道	47 人	3 人	1 人	52 点	0 点	52 点	8 人	55 人	60 点	36 点	44 点
写 真	84 人	26 人	7 人	122 点	2 点	124 点	2 人	86 人	126 点	63 点	65 点
合 計	228 人	41 人	9 人	280 点	7 点	287 点	20 人	248 人	307 点	173 点	193 点

- ◆招待作家 全国規模の公募展で、顕著な成績を残された方
- ◆無 鑑 査 延岡市美術展覧会の第25回展（改組第1回：昭和50年度）から起算して、「特選」（延岡市長賞）および、周年記念の大賞、特別賞を通算3階受賞された方

■第70回延岡市美術展覧会 賞の名称一覧

特 選	延岡市長賞
特別賞	第70回記念特別賞
準特選	宮崎県知事賞 宮崎県教育長賞 延岡市教育長賞 延岡市文化連盟会長賞
奨励賞	延岡市議会議長賞 旭化成(株)延岡支社長賞 清本鐵工(株)社長賞 ケーブルメディアワイワイ賞 センコー(株)東九州主管支店長賞 延岡観光協会賞 延岡市医師会長賞 延岡市歯科医師会長賞 延岡商工会議所会頭賞 延岡市西臼杵郡薬剤師会長賞 延岡農業協同組合代表理事組合長賞 宮崎日日新聞社 夕刊デイリー新聞社 延岡市美術展覧会実行委員長賞 (50音順)
努力賞	※本市美展または他の美術展等で入賞歴のない方を対象とします。
プラチナ賞	※満80歳以上の方を対象とし、入賞歴は問いません。



★延岡市美術展覧会は、国文祭・芸文祭みやざき2020を応援しています。



第35回国民文化祭・みやざき2020

第20回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会

2021年7月3日(土)～10月17日(日)

第70回延岡市美術展覧会

会 期 : 令和3年7月14日(水)～7月31日(土) 9:00～17:00(最終日のみ16時まで)
会 場 : 延岡総合文化センター 展示室1・2 ※毎週火曜は休館日です
主 催 : 延岡市美術展覧会実行委員会、延岡市、延岡市教育委員会、延岡市文化連盟
協賛・後援 : 宮崎県、宮崎県教育委員会、延岡市議会、旭化成(株)延岡支社、清本鐵工(株)
(株)ケーブルメディアワイワイ、センコー(株)東九州主管支店、(一社)延岡観光協会
(一社)延岡市医師会、(一社)延岡市歯科医師会、延岡商工会議所
(一社)延岡市西臼杵郡薬剤師会、延岡農業協同組合、宮崎日日新聞社、夕刊デイリー新聞社

(50音順)
